

令和2年度 新興・再興感染症研究基盤創生事業（多分野融合研究領域）

公募に関する Q&A

**Q1 どのくらいの数の分野、メンバーがいれば多分野融合といえるのか？**

A 分野数やメンバー数による評価ではない。公募要領 p.10-11 に記載の審査項目と観点に基づいて総合的に評価される。

**Q2 公募要領 P10（d）実施体制の箇所に、若手による提案であるか、ということが書かれているが、若手研究者を代表とする実施体制が必須か？**

A 公募要領の p.10, p.11 にあるように、若手による提案であることを審査の項目として示しているが、年齢による制限はない。評価委員会で他の項目と合わせて総合的に評価する。

**Q3 P10 に「未だ有効な予防・治療法が確立していない感染症」と記載されているが、すでに治療法がある感染症は対象外か？**

A 公募要領 p.1 に事業の方向性、p.39 に公募課題の説明、p.10 に審査項目の説明がある。ご参照ください。評価委員会が総合的に判断する。

**Q4 病原体の対象について、感染数の多い影響のある病原体を対象にしたほうがよいのか？**

A 公募要領 p.1 に事業の方向性、p.39 に公募課題の説明、p.10 に審査項目の説明がある。ご参照ください。評価委員会が総合的に判断する。

**Q5 臨床医の参画は必須か？**

A 公募要領 p.10 審査の項目(e)にあるとおり、臨床現場の課題を糸口としているかが重要。

**Q6 4月に大学に移籍予定。事務的な手続きはどうすればよい？事務担当の連絡先はどうすればよい？**

A 現在の所属で提案書を提出して、書類には転出先も付記してください。掲載されている先に採択・不採択を連絡する。

**Q7 公募中の別事業で応募した内容と同じ研究提案をしたい。応募は可能か？**

A 同じ研究内容は重複と判断され不可。提案書（様式1）記載例にあるように、応募中の研究との観点の相違などの説明が必要である。

**Q8 代表者が別の提案の分担に入ることは可能か？**

A 可能。

**Q9 海外レビューアは入るか？**

A 入らない。

**Q10 早期段階の診断技術、診断機器の開発を考えている。対象か？**

A 本公募は、新興・再興感染症の制御にかかる基礎的研究を対象としている。

以上